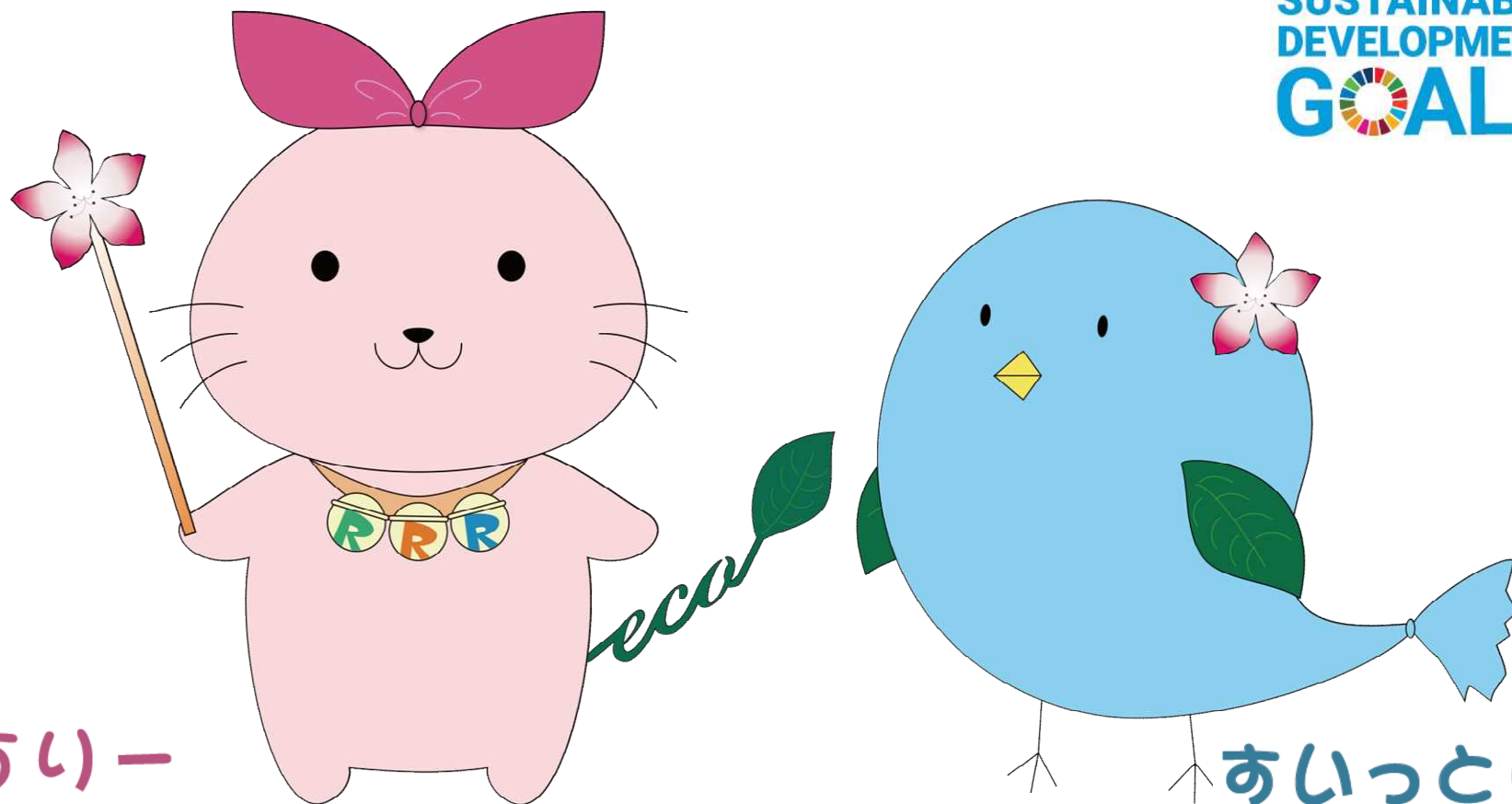


ごみ減量・収集

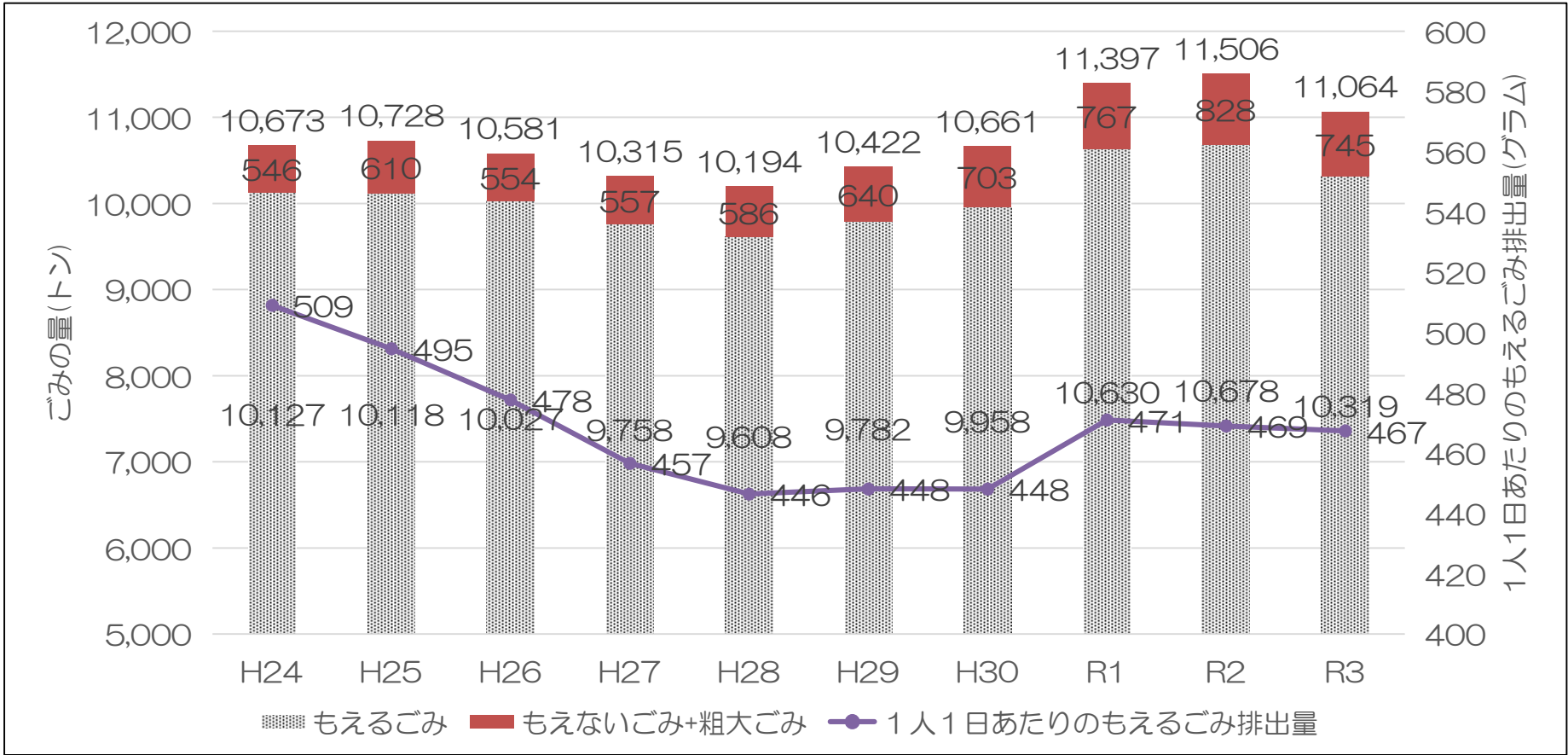
アクションプラン説明会



あーいー

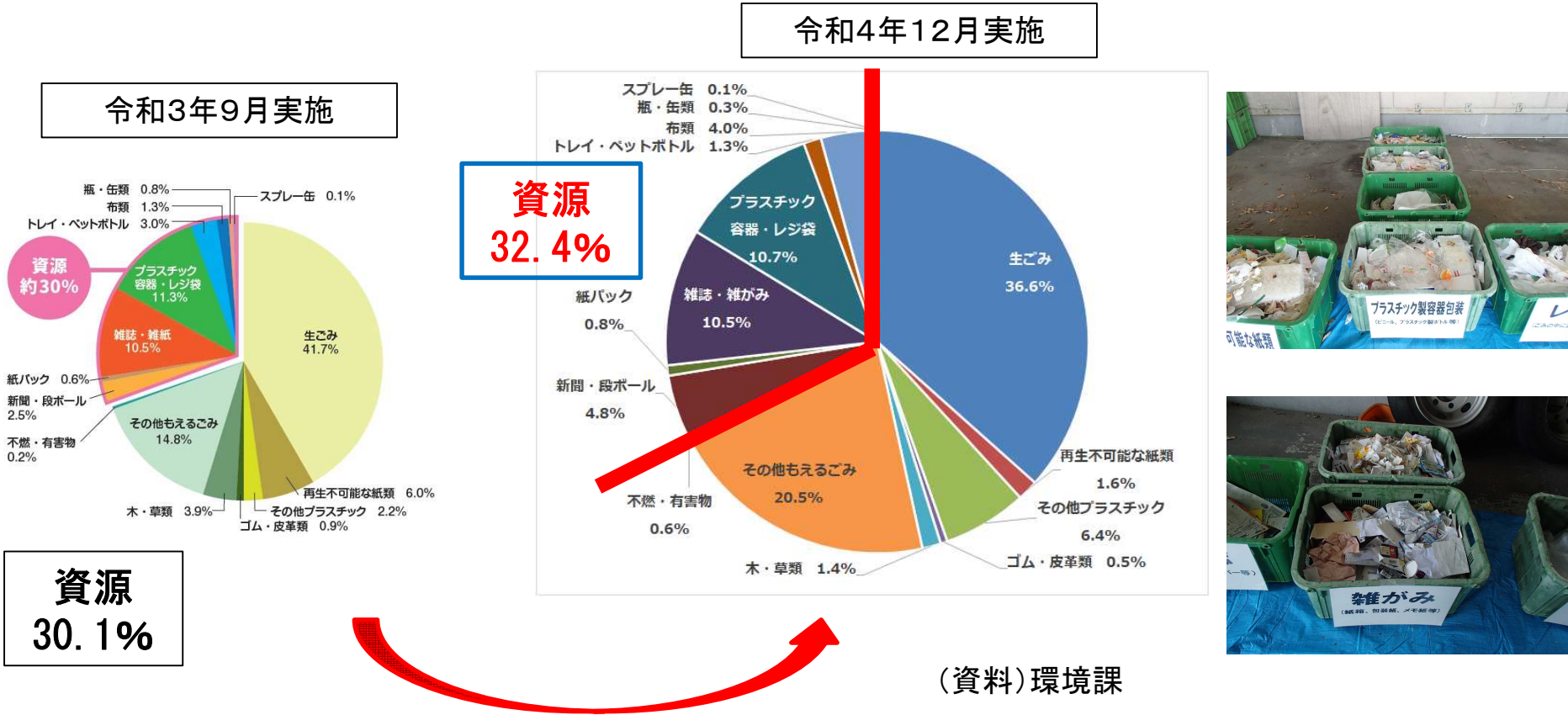
あーいー

過去10年間の家庭から出るごみ排出量の推移



人口増加とともにごみの総量が増えていますが、平成28年度以降1人1日あたりのごみの量が減少せず、停滞しています。

もえるごみの中身を調査してみました



袋の中身の32.4%が資源に分別できるものでした。特にプラスチック製容器包装、雑誌・雑がみがもえるごみの袋の中に多く混入しています。

収集時間とごみの散乱

- 1人1日あたりのもえるごみの量や、世帯の増加によるごみの総量の増加により、収集時間に遅れが出ています。
遅いところでは午後4時前後の収集になっています。
- ごみを出してから収集時間までの間が長ければ長いほど、カラスや猫などによるごみの散乱被害のリスクが高まります。



本市では、ごみ減量に効果がある施策の1つとして、もえるごみ袋増額を提案しました。市は、昨年実施した地域意見交換会で参加者からいただいた意見や要望を踏まえ、資源回収拠点の増設などの新たな施策や、ごみ減量の啓発の強化などを優先することとし、今後の方針を見直しました。



方針① もえるごみ袋増額に関する提案を一旦見送り、「長久手市ごみ減量・収集アクションプラン」を策定しました

ごみ減量や分別、収集に関する施策やごみ減量に取り組みやすい環境づくり、啓発強化など、みなさんに受け入れられる取り組みを考えます。

方針② 次期一般廃棄物処理基本計画(R6～15)にごみ減量目標や検証時期を明記し、期間を定めてごみ減量状況を検証します

減量目標が達成されなかった場合はもえるごみ袋の価格の増額を再度提案します。

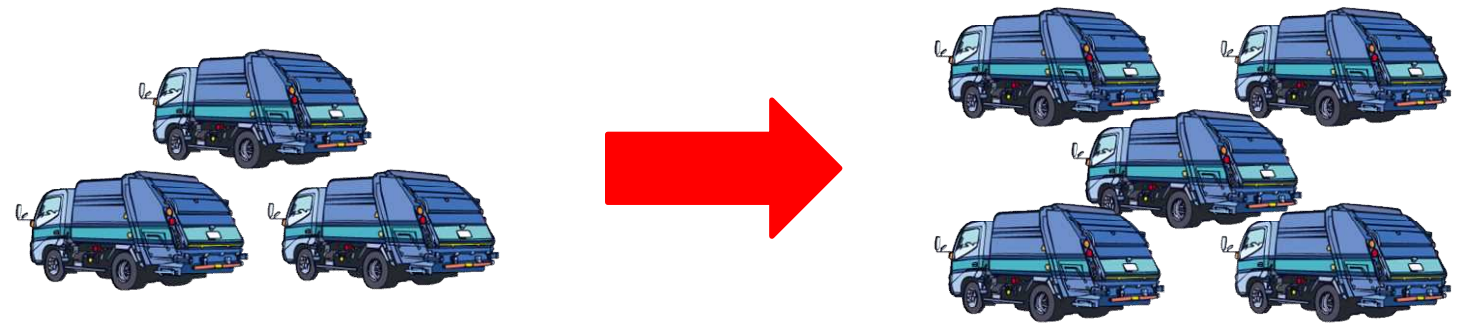
目標が達成された場合であっても常時状況調査を継続して行い、目標から乖離する状況になった場合には価格の増額を検討します。

ごみ減量・収集アクションプラン

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	事業	取組	対象・対応					
収集の充実	①ごみ収集車両の増車	収集時間短縮	各地区3台から5台に増車	● 検討	● 実施			
	②拠点回収用ごみボックスの貸与	収集時間短縮 カラス対策	ボックスの購入、貸与	●→● 広報 実施	● 継続実施			
	③プラスチック製容器包装の毎週回収	収集頻度増加	隔週から毎週	● 検討	※開始時期は未定			
	④ペットボトルの月2回収通年化	収集頻度増加	月1回から月2回	● 検討	※開始時期は未定			
	⑤古紙の月2回収	収集頻度増加	月1回から月2回	● 検討	※開始時期は未定			
	⑥プラスチック製容器包装の指定ごみ袋Mサイズ新設	指定袋の新設	Mサイズ新設、容量検討	● 検討	※開始時期は未定			
	⑦紙おむつの指定ごみ袋新設	指定袋の新設	指定袋新設、容量検討	● 検討	※開始時期は未定			
資源化	⑧分別回収品目の細分化	分別回収、処理	充電5品目の分別回収	● 充電5品目実施	● ※新たな分別品目を継続的に検討			
	⑨資源回収拠点の増設	回収強化	市管理2か所新規設置 地域管理3か所新規設置	●→●● 検討 設置① 設置	● ※地域管理の拠点を継続的に募集			
	⑩ペットボトルの水平リサイクル	二酸化炭素 排出削減	飲料メーカー提携、リサイ クラー契約	●→● 検討 提携	● 実施			
	⑪プラスチック一括回収の検討	分別回収、処理	硬質プラスチックを含めた 一括回収	● 情報収集	● 検討（中間処理工場で設備が整い、資源化ルートが確立され次第周知⇒実施）			
	⑫剪定枝リサイクルの検討	分別回収、処理	剪定枝の資源化	● 情報収集	● 検討（資源化ルートと費用を調査し、実現可能性を検討）			
	⑬広報ながくて特集記事の掲載	情報提供、 周知、啓発	随時対応	● 実施（随時特集記事を掲載）				
啓発・意識向上	⑭「ながくてごみ減量化通信」の発行	情報提供、 周知、啓発	随時対応	● 実施（毎月発行）				
	⑮環境教育の実施	情報提供、 周知、啓発	随時対応		● 実施（水やペットボトルに関連した子ども向け環境学習）			
	⑯説明会、出前講座の実施	情報提供、 周知、啓発	随時対応	●→● アクションプラン説明会	● ごみ減量出前講座の継続実施			
	⑰食品ロス削減推進計画の策定	計画策定	次期一般廃棄物処理基本計 画に包含	● プロポーザル・契約	● 策定	● 計画期間		
検証スケジュール				● 確認	● 確認	● 確認	● 判断 目標達成 → 検証継続 目標未達成 → 手数料増額検討	

① ごみ収集車両の増車

- 1人1日あたりのもえるごみの量や、世帯増によるごみの総量の増加により、収集時間に遅れが出ています。遅いところでは午後4時前後の収集になっています。
- 1地区あたりの収集車の台数を3台から5台に増車することで収集時間を大幅に短縮します。



令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
● 検討	● 実施			

② 拠点回収用ごみボックスの貸与

- ご近所同士で10世帯程度まとまって1か所でごみ出しを希望する場合、ごみボックスを無償で貸与し、**拠点回収化を進めることで、ごみ収集を迅速化**します。
- ごみボックスを使用することにより、**カラスなど鳥獣によるごみ散乱被害も防止**します。



令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
● → ● 広報 実施	継続実施			

- ③ プラスチック製容器包装の毎週回収
- ④ ペットボトルの月2回収通年化
- ⑤ 古紙の月2回収

・ プラスチック製容器包装(隔週)、ペットボトル(月1回、夏季のみ月2回)、古紙(月1回)の回収回数を増やすことで、資源分別意識を高めるとともに、資源回収の利便性を高めます。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
● 検討	中長期的に検討するため開始時期未定			

⑥ プラスチック製容器包装の指定袋Mサイズ新設

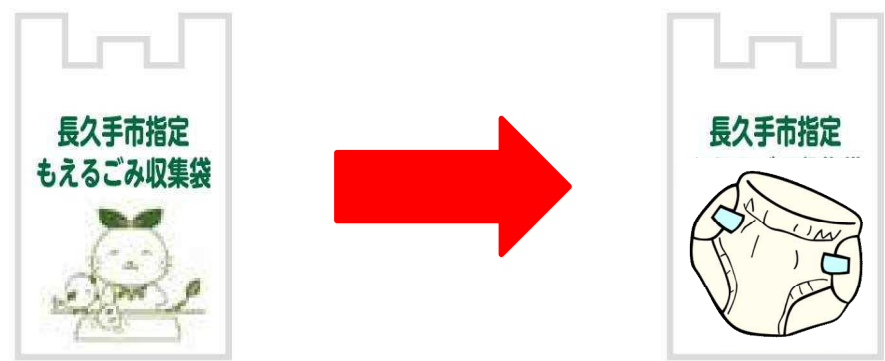
- 現在1種類しかないプラスチック製容器包装の指定袋（45リットル）より少し小さいMサイズを新設し、**資源分別意識を高めるとともに、資源回収の利便性を高めます。**



令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
● 検討	中長期的に検討するため開始時期未定			

⑦ 紙おむつの指定ごみ袋新設

- 通常もえるごみとなっている紙おむつ専用の指定ごみ袋を新設し、将来的に紙おむつを資源化することになった際に円滑に移行できるようにします。



令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
● 検討	中長期的に検討するため開始時期未定			

⑧ 分別回収品目の細分化

- ごみから資源へ分別できる品目を増やしていくことで、ごみ自体を減量します。
- 令和4年4月に「**充電5品目**」の分別を開始しました。



令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
● 充電5品目実施	新たな分別品目を継続的に検討			

⑨ 資源回収拠点の増設

- ・ エコハウスなどの資源回収拠点を増やしていくことで、資源分別意識を高め、資源回収の利便性を高めます。
- ・ 令和4年11月に出張ながくてエコハウス(西部)、5年1月に出張ながくてエコハウス(東部)を開設しました。
- ・ 今後は地域のみなさんが管理運営する資源回収拠点を増やしていきたいと考えています。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
● → ●● 検討 西部開設 東部開設	地域管理の拠点を継続的に募集			

⑩ ペットボトルの水平リサイクル

- 令和5年4月から本市・瀬戸市・尾張旭市は、豊田通商(株)・サントリーグループとペットボトルからペットボトルに再生する「ボトルtoボトル」という水平リサイクル事業に協働で取り組みます。
- 新たに石油由来原料からペットボトルを作るのに比べてCO2を約60%削減でき、サントリー製飲料のペットボトルとして再生先を「見える化」することで、リサイクル意識を高めます。



⑪ プラスチック一括回収の検討

- プラスチック製容器包装だけでなく、現在もえるごみに分類されるプラスチック製品も資源として一括して回収できるよう検討を進めます。
- プラスチック製品を中間処理することができる工場の選定を進め、設備体制が整い次第、準備を進めます。



令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
● 情報収集	● 検討 (中間処理工場の選定が出来次第実施)			

⑫ 剪定枝リサイクルの検討

- 現在もえるごみに分類される剪定枝を資源として回収
できるよう検討を進めます。



令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
● 情報収集	● 検討 (資源化ルート と費用を調査し 実現可能性を 検討)			

⑬ 広報ながくて特集記事の掲載

- 「**広報ながくて**」で**ごみ減量や収集に特化した特集記事を随時掲載し、意識を高め**ます。
- 「**長久手市ごみ減量大作戦**」として令和3年度に4回、4年度に2回、特集記事を掲載しました。



令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
● 実施(随時特集記事を掲載)				

⑭「ながくてごみ減量化通信」の発行

● 本市の現状や課題、みなさんが日々の生活の中で実践できるごみを減らす方法など、**ごみを減らさなければならぬ理由やごみ減量化への取組についての通信を毎月発行し、意識を高めます。**

ながくてごみ減量化通信
～第1号～ 令和4年4月 長久手市役所環境課

今回は長久手市の「ごみ減量化」に取組んでいることについて、市民の皆様へお知らせいたします。
「ごみ減量化」は、ごみを減らすことにより、ごみ処理の負担を減らすこと、資源の有効利用を図ること、環境の保全を図ることなど、さまざまな効果が期待されています。また、ごみを減らすことは、ごみ処理の費用を削減することにもつながります。

ながくてごみ減量化通信
～第2号～ 令和4年5月 長久手市役所環境課

前号で、本市の「ごみ減量化」の現状と課題として、「1人1日あたり1.1kgの削減」が課題とされています。今回は、ごみ減量化の取組方法についてお知らせいたします。

ながくてごみ減量化通信
～第4号～ 令和4年7月 長久手市役所環境課

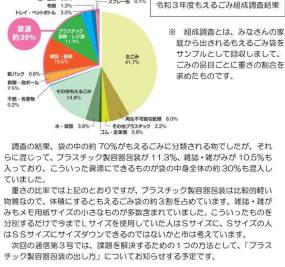
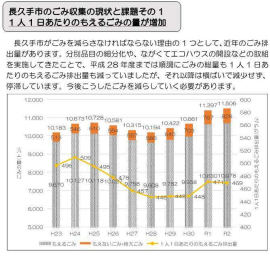
前号は、「プラスチック製容器包装」の出し方について、お知らせしました。今回は、ごみ減量化の取組方法についてお知らせいたします。

ながくてごみ減量化通信
～第5号～ 令和4年8月 長久手市役所環境課

長久手市は現在、市民の皆様にごみ減量化に取り組んでいただいております。今回は、ごみ減量化の取組方法についてお知らせいたします。

ながくてごみ減量化通信
～第7号～ 令和4年10月 長久手市役所環境課

長久手市は現在、市民の皆様にごみ減量化に取り組んでいただいております。今回は、ごみ減量化の取組方法についてお知らせいたします。



ながくてごみ減量化通信
～第4号～ 令和4年7月 長久手市役所環境課

前号は、「プラスチック製容器包装」の出し方について、お知らせしました。今回は、ごみ減量化の取組方法についてお知らせいたします。

ながくてごみ減量化通信
～第5号～ 令和4年8月 長久手市役所環境課

長久手市は現在、市民の皆様にごみ減量化に取り組んでいただいております。今回は、ごみ減量化の取組方法についてお知らせいたします。

ながくてごみ減量化通信
～第7号～ 令和4年10月 長久手市役所環境課

長久手市は現在、市民の皆様にごみ減量化に取り組んでいただいております。今回は、ごみ減量化の取組方法についてお知らせいたします。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
● 実施 (毎月発行)				

⑮ 環境教育の実施

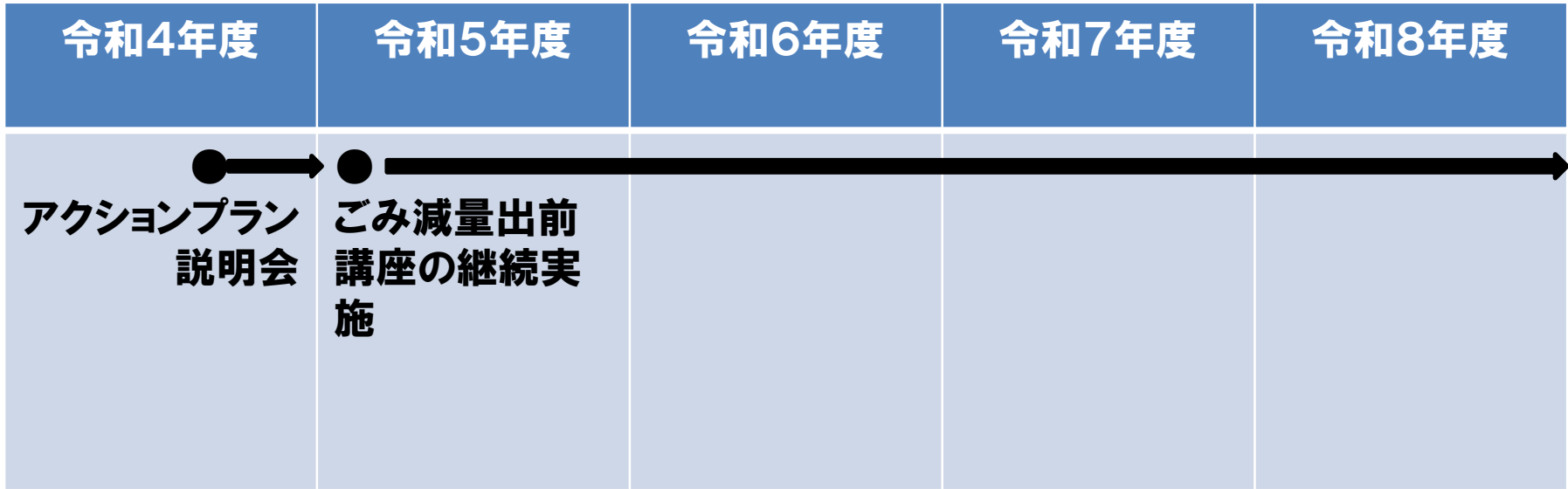
- 水やペットボトルに関連した子ども向け環境学習を実施し、子どものSDGsや分別に対する意識を高めます。
- 令和5年度から実施するペットボトルの水平リサイクルに関連し、サントリーグループの協力で実施します。



令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	● 実施			

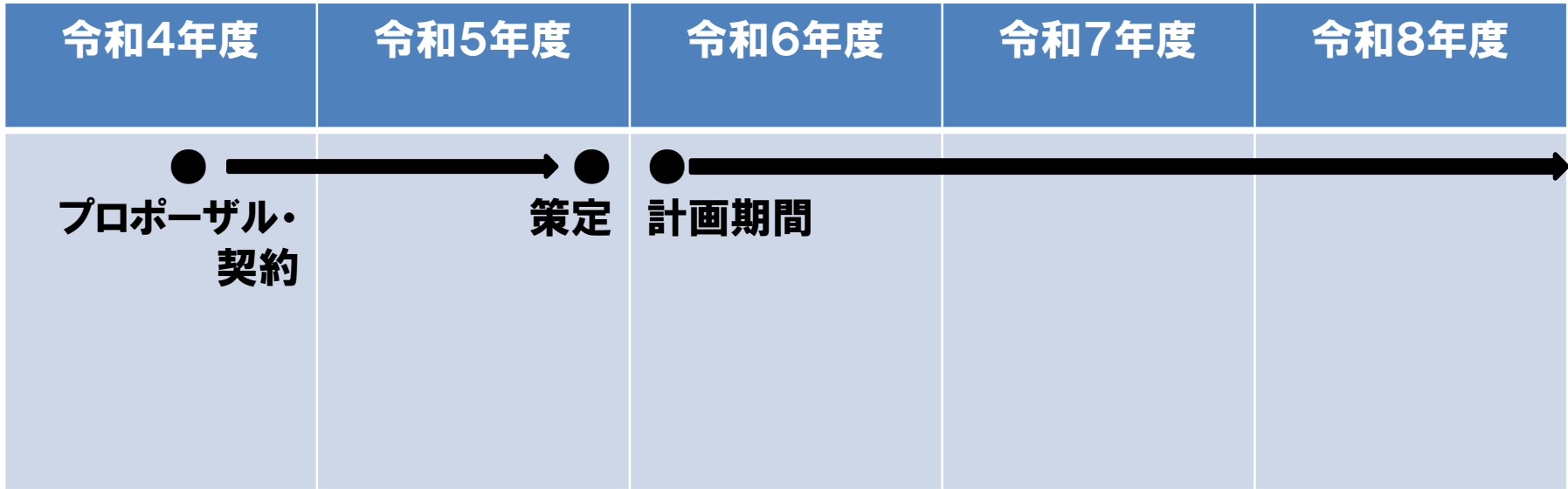
①6 説明会、出前講座の実施

- ・ ごみ減量に関する新たな政策の実施や転換があった場合、説明やご意見をいただく説明会を開催します。
- ・ 5人以上の市民の集まりや、学校などを訪問して講義を行う「ごみ減量出前講座」を随時開催しています。



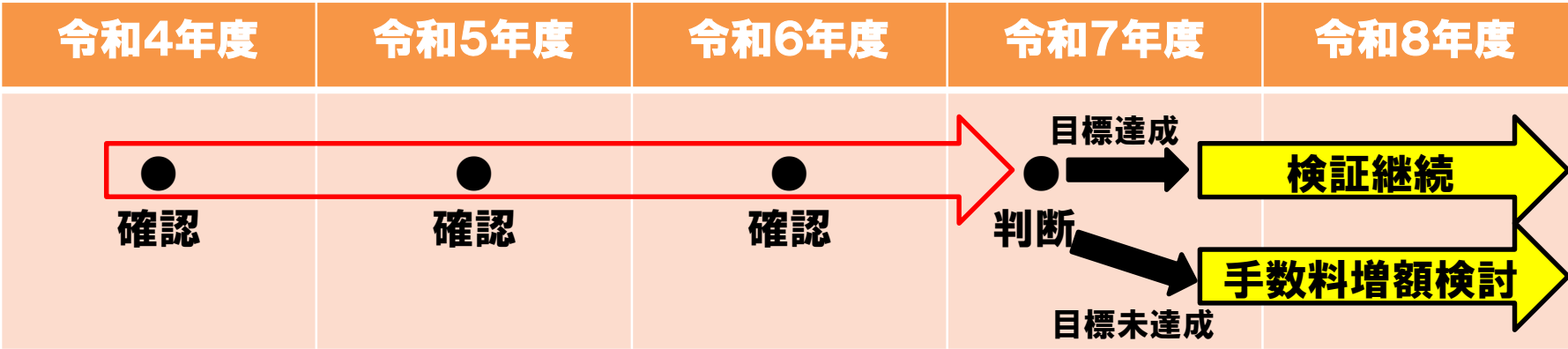
⑪ 食品ロス削減推進計画の策定

- まだ食べることができる食品が日常的に廃棄され、大量の「食品ロス」が発生しています。
- 食品ロスの削減により、生産から廃棄までに用いられた多くの資源やエネルギーの無駄を無くすことで、家計負担を軽減し、CO2排出量を削減することで気候変動の抑制に役立たせます。



ごみ減量・収集アクションプラン検証スケジュール

- ・ アクションプランの17の取組を進め、毎年度もえるごみの減量状況を確認します。
- ・ 令和7年度中に次期一般廃棄物処理基本計画に定める予定のごみ減量目標を達成しなかった場合は、再度もえるごみ袋の増額を提案します。
- ・ ごみ減量目標を達成した場合は、常時状況調査を継続して行い、目標から乖離する状況になった場合には価格の増額を検討します。



市民1人ひとりの力が大きな力になります！
ごみ減量をみんなで頑張りよう！

